

あだたら

発行所
三本松市木ノ根
あだたら山の会
編集部

八月二十四日(木)～二十五日(金)

八月平日山行、苗場山

報告 久保五三



【参加者】C工青木幹夫、S工菅野善雄、会計・菅原富美子、記録・久保五三、佐藤富子、中脇ゆき子、高橋国蔵(七名)

【行動】二十四日、前日の天気予報ではあまり良くない天候だが、予定通り決行

する。曇り空のもと二本松駅前集合。午前六時十五分、青木さんの十人乗りワゴン車を出発。二本松ICより東北道、北関東道と進むにつれ青空が広がり、遠方の山々も見えたと気持ちが高揚し、話もはずむ。午前八

時三十分波志江(はしえ)PAで朝食休憩し関東道へ入る。午前九時五十分湯沢ICで降り、コンビニセブンで昼食、明日の昼食を購入し、午前十時四十分、和田小屋駐車場に到着。予約していたタクシーで二班に分かれ、ピストンで登山口へ。午前十一時十五分出発、スキー場から樹林帯へ入る。整備された立派な木道を上り午後〇時三十分「下ノ芝」手前で昼食。周りは白・黄色の花がいっぱい咲き清々しい風が心地よい。午後一時出発。「中ノ芝」へと登ると展望が開け、「上ノ芝」「股すり岩」「神楽ヶ峰」を通り午後三時十五分「富士見坂」を下り「雷清水」で冷たく美味しい水で喉を潤し給水する。下るとトリカブト・リンドウ・ハクサンフウロ・イワシヤジン・梅バチソウ等咲くお花畑が広がる。目の前には苗場山が聳え立つ。ワートに休みながら登る。

ダケカンバの林が開けると、平らな木道に出る。広大な湿原、所々に小さな池があり、水面に青空が写り天空の楽園、感動しながら進むと、平らな所に山頂が

あり、記念写真を撮り、宿泊する苗場山自然体験交流センターに、午後五時二十分到着。午後六時乾杯、カレー・ポテトサラダの夕食。夕食後外に出て今月初めて見るという夕日に、明日の天候をお祈りし部屋に戻り酒盛りし、午後八時三十分消灯。

二十五日午前五時起床、外へ出ると肌寒い。視界が良く、赤く空が輝き、日の出を見守っていたが、曇がかかり残念。朝食をとり散策したが空が暗くなり早く下山することにする。午前七時四十五分小雨の中下山開始。「雷清水」あたりから雨が本降りになり、道は沢になりつつあった。「下ノ芝」に着く頃雨も上がり、和田小屋登山口に午後〇時二十分到着。みちの駅で、お風呂。昼食をとり午後二時十分出発。湯沢ICより入り、小出IC午後二時四十五分出る。只見を通り二本松、午後七時三十分到着。

苗場山での反省

◆ 菅野善雄

会山行苗場山に参加し、一日目天気も良く長い厳しい登り。予定時間より少し遅れたが山頂へ五時頃着くことが出来た。雄大な湿原に高山植物、すばらしいの一語、夕陽・朝陽にも手を合わせることが出来、最高の幸せを感じた。私にとって最高の思い出になること

あり、記念写真を撮り、宿泊する苗場山自然体験交流センターに、午後五時二十分到着。午後六時乾杯、カレー・ポテトサラダの夕食。夕食後外に出て今月初めて見るという夕日に、明日の天候をお祈りし部屋に戻り酒盛りし、午後八時三十分消灯。

二十五日午前五時起床、外へ出ると肌寒い。視界が良く、赤く空が輝き、日の出を見守っていたが、曇がかかり残念。朝食をとり散策したが空が暗くなり早く下山することにする。午前七時四十五分小雨の中下山開始。「雷清水」あたりから雨が本降りになり、道は沢になりつつあった。「下ノ芝」に着く頃雨も上がり、和田小屋登山口に午後〇時二十分到着。みちの駅で、お風呂。昼食をとり午後二時十分出発。湯沢ICより入り、小出IC午後二時四十五分出る。只見を通り二本松、午後七時三十分到着。

苗場山での反省

◆ 菅野善雄

会山行苗場山に参加し、一日目天気も良く長い厳しい登り。予定時間より少し遅れたが山頂へ五時頃着くことが出来た。雄大な湿原に高山植物、すばらしいの一語、夕陽・朝陽にも手を合わせることが出来、最高の幸せを感じた。私にとって最高の思い出になること

あり、記念写真を撮り、宿泊する苗場山自然体験交流センターに、午後五時二十分到着。午後六時乾杯、カレー・ポテトサラダの夕食。夕食後外に出て今月初めて見るという夕日に、明日の天候をお祈りし部屋に戻り酒盛りし、午後八時三十分消灯。

二十五日午前五時起床、外へ出ると肌寒い。視界が良く、赤く空が輝き、日の出を見守っていたが、曇がかかり残念。朝食をとり散策したが空が暗くなり早く下山することにする。午前七時四十五分小雨の中下山開始。「雷清水」あたりから雨が本降りになり、道は沢になりつつあった。「下ノ芝」に着く頃雨も上がり、和田小屋登山口に午後〇時二十分到着。みちの駅で、お風呂。昼食をとり午後二時十分出発。湯沢ICより入り、小出IC午後二時四十五分出る。只見を通り二本松、午後七時三十分到着。

苗場山での反省

◆ 菅野善雄

会山行苗場山に参加し、一日目天気も良く長い厳しい登り。予定時間より少し遅れたが山頂へ五時頃着くことが出来た。雄大な湿原に高山植物、すばらしいの一語、夕陽・朝陽にも手を合わせることが出来、最高の幸せを感じた。私にとって最高の思い出になること

あり、記念写真を撮り、宿泊する苗場山自然体験交流センターに、午後五時二十分到着。午後六時乾杯、カレー・ポテトサラダの夕食。夕食後外に出て今月初めて見るという夕日に、明日の天候をお祈りし部屋に戻り酒盛りし、午後八時三十分消灯。

二十五日午前五時起床、外へ出ると肌寒い。視界が良く、赤く空が輝き、日の出を見守っていたが、曇がかかり残念。朝食をとり散策したが空が暗くなり早く下山することにする。午前七時四十五分小雨の中下山開始。「雷清水」あたりから雨が本降りになり、道は沢になりつつあった。「下ノ芝」に着く頃雨も上がり、和田小屋登山口に午後〇時二十分到着。みちの駅で、お風呂。昼食をとり午後二時十分出発。湯沢ICより入り、小出IC午後二時四十五分出る。只見を通り二本松、午後七時三十分到着。

苗場山での反省

◆ 菅野善雄

会山行苗場山に参加し、一日目天気も良く長い厳しい登り。予定時間より少し遅れたが山頂へ五時頃着くことが出来た。雄大な湿原に高山植物、すばらしいの一語、夕陽・朝陽にも手を合わせることが出来、最高の幸せを感じた。私にとって最高の思い出になること

八月五日(土)

県山岳連盟県北支部交流会

報告 編集部



をしてお祝い、八時頃帰宅することが出来た。翌日病院で診察、左足の骨折との事で即入院となっていました。今考えるとストレスや疲労、自信過剰等で注意が疎かになっていたのではなかつた。深く反省

県山岳連盟県北支部の交流会は、八月五日(土)「フオレストパークあだたら」にて開催されました。参加者は梓山の会、吾妻山の会、福高学友会、福島キャンソンの会、当会を含めて十名。コテージ二棟の定員は十二名なので、寝具の準備必要無し、是は楽で良い。久しぶりに見る顔で開会予定時間より前に酒盛りが始まりました。事務局が準備した酒より各山岳会が持ち込んだ酒の方が多し。私も缶ビール六本と五合場一本、共に自宅の在庫、を持参した。地元のスーパーでつまみも調達して行った。テーブルはお酒とつまみで空気がない、くらいまでは覚えていた。居合わせた人で酔眼のままテーブルを片付け、ゴミの始末をし、その日は登山道整備の日だったので、コンビニで朝食買って奥岳に向かった。それほどひどい宿酔ではなかった(と思う)。



八月六日(日)

勢至平登山道整備

報告 編集部



予定では麓山下登山道の整備であったが、今回は勢至平へ登る急坂「四丁坂」の、湯樋との交差点「十文字」から、馬車道との分岐点「八の字」迄の間。笹が道に被さっていたのを排除したのと、ぬかるみ対策に土嚢袋設置を実施した。当日は晴れてはいないものの、市街地では猛暑になる予定、登山道も無風状態で湿度が高く、とても「暑い」日。汗びっしょりになりながら作業に精を出した。次は「邪魔石」脇の「展望地」、



アサギマダラ



イチヤクソウに集まった

の流れを汲み、この場所は江戸時代中期までは三十数軒の「湯温泉・湯小屋」があった場所だった。ここで入浴したいがために二時間弱の登山をする人も多い。早期の再開が望まれる。登山道では、ヨツバヒヨドリが満開、この花目当ての通りをする蝶「アサギマダラ」も沢山見られる。「ホツツジ」、「オトギリソウ」、「コバギボウシ」、「コマツツジ」も花を付けている。美味しい「アカモノ」の実も沢山見付ける事が出来た。今にも降り出しそうな空模様ではあったが、会員六名(内女性三名)が参加、午後三時には全員無事奥岳登山口に下山した。

奥岳のオオハongoンソウ駆除



二本松市生活環境課は十日(木)安達太良山奥岳登山口、奥岳の湯駐車場脇とJAIC訓練所奥の奥道三八六号線で、特定外来生物「オオハongoンソウ」の生育調査・防除作業を実施した。

オオハongoンソウは『明治中期に観賞用に導入された。野生化し、現在では全国に分布する。北海道、福島県、長野県、岐阜県で大群落がみられる(環境省ホームページ)』。繁殖力が強く、ニメートル近くまで成長し、以前から生息していた植物を駆逐してしまっているので、恐れられている。表磐梯では毎年環境省が主催して、大規模な防除活動が行われている。まだ見つからない不安達太良連峰への侵入が危惧されている。八月六日の整備作業の際「奥岳の湯」付近で、オオハongoンソウの群落を発見した。届け出を受けた市生活環境課は、環境省東北地方環境事務所と打ち合わせ、繁殖地が限られた範囲であることから、早急に防除作業を実施することとした。当日は、午前九時から農林課、当会から計八名が

した。届け出を受けた市生活環境課は、環境省東北地方環境事務所と打ち合わせ、繁殖地が限られた範囲であることから、早急に防除作業を実施することとした。当日は、午前九時から農林課、当会から計八名が

奥岳の湯近くで沢地形を挟んで生育していたオオハongoンソウを駆除した。その後JAIC奥の奥道でも実施。午前中には作業を終え、生活環境課、観光課、農林課、当会から計八名が

七月十五日(土)〜十六日(日)

七月山行、甲斐駒ヶ岳

報告 西東寛樹



【参加者】CⅠ西東寛樹、SⅠ久保五三、記録内田昌宏、会計斎藤章子、本多信治(五名)

【行動】私の一年越しの夢が叶い甲斐駒ヶ岳山行が実現しました。甲斐駒は、深田久弥が日本百名山で、日

本アルプスで一番きれいな頂上であり、日本の十名山を選ばず外せない山と絶賛した山である。二本松市役所を午前六時に出発し途中内田さんを拾うために、奥中央道の川島ICを経由し仙流荘駐車場へ。奥中央道が

私のナビにないため、高速をおり少し遠回りをしてしまいました。中央道が近づくと渋滞し、仙流荘へは最終バスが行ってから着くことになりました。やっぱり、首都圏は車の量が違います。結局、予定していた北沢峠付近のテント場ではなく、許可をいただいて仙流荘駐車場でテント泊することになりました。翌日朝四時に起床し、始発のバスで北沢峠へ。途中、甲斐駒山頂が見えてワクワク。一時間のバス移動でしたが標高二千mまで登っちゃったので仕方ありません。私は、アルプスは初めてでしたので、余計に東北の山との様相が違ふと感じました。山頂へは丁度お昼頃到着し、白い花崗岩の砂礫の綺麗な山頂で昼食。帰りは、途中の分岐から来た道とは別の登山道を下りました。仙流荘のお風呂につかり、有名な高遠そばを食べ、中央高速で往路と同じ道を帰りました。小仏トンネル付近から渋滞にはまり、自宅に到着したのは、三日目の朝四時でした。

九月三日(日) 湯川溪谷登山道整備

報告 編集部



作業材料 橋板、アルミ梯子、棧道の杭は 背負って登る

三日の予定は、僧悟台登山道整備であったが、僧悟台は春の登山道整備作業で十分な刈払いを実施しており、湯川溪谷の天狗岩上橋の橋板交換、三階滝脇の梯子交換作業を登山道安全確保の面からも優先することとした。午前七時半塩沢スキー場に会員八名と林業女子会の一名が集合。橋板交換

班三名、梯子班六名に分かれ行動開始した。

橋板交換は、溪谷の天狗岩上、五年前に蛇籠を土台にアルミ製の橋板を二枚並べて橋にしていた(会報三〇三号)。大雨でこの橋が蛇籠ごと流され橋板一枚が折れてしまった。今回新しく固定し橋の巾を設置時

と同じとし 利用しやすうとした。三階滝の梯子は十二年前に「岩場登り」になっていた場所に材料運び上げて現地で組み立てた(会報二一二号)。老朽化し危険でもあったのでアルミ製の頑丈な梯子を持参して岩にボルト打って番線で固定した。また三階滝への下り道の崩落か所に持参した杭を打ち込んで「棧橋」を設置した。正午前には作

業を終え三階滝滝壺に集合して昼食とし、午後一時過ぎには全員無事塩沢登山口に下山した。当日は久しぶりの快晴登山日和。今年の七月八月は雨続き、登山に不向きな日が続いた。漸く訪れた日和に、外国人も含めた登山客も多く、湯川溪谷登山道人が切れることはなかった。また沢登りのグループもあり、湯川溪谷は大賑わいだった。



橋板交換後



三階滝脇梯子、交換後

安達高校 山岳部がら礼状

七月六日(木) 全国高校総体に参加が決まった、安達高校山岳部女子に激励金を贈呈しました。大会は八月三日に終了、お礼状が届きました。

暑中お見舞い申し上げます。先日は本校山岳部女子のために、多大なご芳志を戴きありがとうございました。福島県女子代表として精一杯頑張った参りでしたが、その結果報告を致します。七月三十一日月山、八月一日蔵王瀧山コースでは天候不順ではありましたが下見の成果もあり、十分力を出し切ることができました。しかし最終日八月二日熊野岳コースでは好天ではありましたが力み過ぎたのかメンバーの一人が熱中症で離脱し四十一位という不本意な結果になってしまいました。しかし次回に向けてメンバー一同気持ちを合わせてこれから頑張っていくつもりです。温かく見守って戴ければ幸いです。最後になりましたが「あだたら山の会」の皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。これからも本校とのおつき合いです。どうぞよろしくお願いたします。本当にありがとうございました。皆様にもお礼をお伝え下さい。

七月八日(土)

個人山行、飯豊山山開き

報告 菅野英伸



喜多方市山都町川入にて開催されていた「第二十五回飯豊山山開き」に参加した。一般登山者は五人で少し寂しい神事だった。御神酒とするめを戴き、「直会の儀」も滞りなく進行し、お開きになった。記念のバッジを受け取り午前八時四十分登山開始。快晴、無風で気温はうなぎ登りで、汗が目に見える。笹平あたりで熊の唸り声(?)を聞いて少し汗が引く。地蔵の水場は水量は十分で冷たい水で喉を潤した。剣ヶ峰のヒメサユリが七分咲き、三国小屋付近のニッコウキスゲは咲き始めた。午後一時三国小屋着。ここまで登山道に雪は無かったが、ここから先は雪景色で大日岳が輝いて見えた。下山後「いい湯」で汗を流し、山都そば大盛りを食べて帰宅した。次回は本山まで行こうと思った。